

平成 24 年度

第 16 回

第 63 回

視聴覚教育総合全国大会

放送教育研究会全国大会

合同大会（東京大会）

大会テーマ

ネットワーク社会におけるメディアとヒューマンコミュニケーション

主 催 全国放送教育研究会連盟 **NHK**

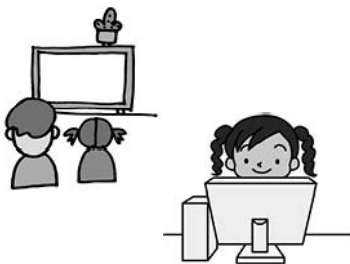
視聴覚教育総合全国大会連絡協議会

日本学校視聴覚教育連盟、全国視聴覚教育連盟、全国高等学校メディア教育研究協議会
一般財団法人日本視聴覚教育協会／公益財団法人パナソニック教育財団

期 日 平成 24 年 8 月 2 日（木）・3 日（金）

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

8 月 2 日（木）



12:30 13:00

受付	テーマ別研究交流会
----	-----------

16:00 16:10

移動

17:30

各団体理事会
事務局長会議

視聴覚教材・教具展示

8 月 3 日（金）

9:00 9:30

受付	団体別研究 （団体別功労者表彰）
----	---------------------

12:00 13:30

昼食	合同全体会 開会行事、功労者紹介 NHK プレゼンテーション、シンポジウム
----	---

16:00

教材教具
展示研究
抽選会

17:00

視聴覚教材・教具展示

■ 1 日 目 [8 月 2 日 (木)] テーマ別研究交流会 (13 : 00 ~ 16 : 00)

	テーマ	内 容	指導講師	提案者等	会場
1	ICTを活用した 授業づくり	◇教科指導において、児童・生徒の学習効果を高めるためのICT機器・教材、放送番組・NHKデジタル教材を活用した事例をもとに研究を深めます。	稲垣 忠 (東北学院大学)	山内 彰一 (名古屋市立宝小学校) 福士 晶知 (岩見沢市立美園小学校)	センター棟 102
2	電子黒板等を 活用した授業改善	◇電子黒板等を中心としたICT機器の活用を通して、日々の授業が楽しく展開できる実践事例を紹介します。	村井万寿夫 (金沢星稜大学)	田原健之介 (大阪市立南港緑小学校) 林 一真 (名古屋市立天白小学校) 楠本 誠 (松阪市立三雲中学校)	センター棟 501
3	豊かな表現力を 育てる放送番組 <small>(幼・保)</small>	◇放送番組を活用した保育を通して、子どもたちの豊かな表現力をどのように培っていくのかを、幼稚園・保育所からの実践提案をもとに考え合います。	堀田 博史 (園田学園女子大学)	垣浦 美栄・坂井 香織 (東京・たんぽぽ保育園) 小泉 清人 (いの町立伊野幼稚園)	センター棟 309
4	生きる力を育む 放送番組活用	◇放送番組を活用して「生きる力」を育むための授業づくりについて、小学校の実践提案をもとに参会者の方々と共に考え合います。	中橋 雄 (武蔵大学)	水野 宗市 (都城市立高城小学校) 菊地 寛 (浜松市立豊岡小学校)	センター棟 310
5	明日に活かす メディア・コミュニティ を考える <small>(生涯学習)</small>	◇地域社会の活性化を目指した、新たなメディア環境の構築や、その活用の在り方について、報告を中心に研究協議を行います。	妹尾 剛 (放送大学学園)	廣瀬 修 (富山県映像センター) 安東 幹雄 (大分市情報学習センター)	センター棟 311
6	情報活用について 考える	◇情報モラルをどのように身に付けさせるか、情報リテラシーをどのように培うか、放送番組やICT教材の活用を通して考え合います。	寺嶋 浩介 (長崎大学)	田中 孝志 (品川区立戸越台中学校) 天田 和男 (岩国市立御庄小学校)	センター棟 304
7	ICTが生きる 放送番組の活用 <small>(中学)</small>	◇中学校での授業実践をもとに、ICT・放送番組のメディア特性を活かした活用の在り方について、メディアミックスの視点も含めて研究を深めます。	藤村 裕一 (鳴門教育大学大学院)	吉田 智行 (伊勢崎市立植蓮中学校) 久保 泰雄 (京都市立西京高等学校附属中学校)	センター棟 403
8	校内放送を通じた 自己表現力の育成 <small>(小・中・高校)</small>	◇自分を表現するために「いかに自然に話し、そして伝えるか」を主題に、アナウンサーが直接生徒を指導し、音声言語の指導方法を学びます。	未定 (NHK 日本語センター)		センター棟 405
9	特別支援教育を 求めている 子どもたちのために	◇一人一人の子どもを大切にし、その子にあった教育の在り方や個々にもっている様々な課題を解決していくための放送番組活用について考え合います。	市川 裕二 (東京都教育庁)	猪又 瞳 (札幌市立中沼小学校) 安井 政樹 (札幌市立有明小学校) 川口 尚人 (都立光明特別支援学校そよ風教室)	センター棟 409
10	デジタル教科書 の活用	◇電子黒板の普及とともに、各教科書に対応したデジタル教科書が整備されつつあります。デジタル教科書の特徴や効果的な活用方法について紹介します。	佐和 申明 (千葉県柏市教育委員会)	藤井 智崇 (目黒区立五本木小学校) 東京港区視聴覚教育研究会	センター棟 513
11	「エリート」を 育てるとのこと (日欧教育観の違い) <small>(一般・OB)</small>	◇ENA(フランス国立行政学院)をご存知ですか。人材の育成という問題について、欧州に精通するかつての“ミスターNHK”から洒落な(ちょっとキザな)お話をお聞きます。	磯村 尚徳 (外交評論家・元NHKキャスター)		センター棟 402

■ 2日目 [8月3日(金)] 団体別研究 (9:30~12:00) / 団体別功労者表彰

	テーマ	内 容	指導講師	会場
1	学視連 校務の情報化の推進 ～校務 LAN の活用と課題～	◇校務の情報化を推進することにより、校務を効率的に行い、児童・生徒指導により多くの時間を割くことが可能になるといわれています。実践校の報告からその効果と課題を浮き彫りにします。	藤村 裕一 (鳴門教育大学大学院)	センター棟 309
2	全視連・センター協 デジタル化への展望 ～視聴覚ライブラリーの ネクストステージ～	◇視聴覚ライブラリー本来の役割や展望、地域教材とICT機器の関わり、コンテンツの活用などの事例にもとづき、今後ライブラリーは他のメディア教育関係機関・施設とどのように協働していくべきかを研究協議します。	吉田 広毅 (常葉学園大学)	センター棟 401
3	地域力を培う特色ある メディア活用	◇情報化社会にフィットした、地域力を培うための特色あるメディア活用の事例を取り上げて、その活用目的や活用法、活用効果等を研究協議します。	伊藤 敏朗 (東京情報大学)	センター棟 403
4	高メ協 放送番組や視聴覚教材 を活用した授業実践	◇インターネットや放送番組、各種視聴覚機器を活用した授業実践の報告をもとに、デジタル化に対応した教育内容や教育方法を検討します。	実践発表者 黒須 伸之 (東京都立足立高等学校) 鈴木恵美子 (群馬県立太田東高等学校)	センター棟 405
5	全放連 放送番組のよさを活か した保育・授業づくり	◇幼稚園・保育所、小学校、中学校での実践提案をもとに、放送番組のメディア特性や教材としてのよさを活かした保育・授業の在り方について木原・中橋両先生を中心に実践的に考え合います。	木原 俊行 (大阪教育大学) 中橋 雄 (武蔵大学)	カルチャー棟 小ホール

■ 2日目 [8月3日(金)] 合同全体会 (13:30~16:00) カルチャー棟小ホール

◆開会行事・功労者紹介 (13:30~14:00)

主催者挨拶／来賓挨拶、各団体功労者の紹介

◆NHKプレゼンテーション (14:00~14:15)

NHK 学校放送番組・デジタル教材の内容や制作コンセプト及び教育活用における視点を番組制作者よりプレゼンテーションします。

◆シンポジウム (大会のまとめ) (14:30~16:00)

テーマ別研究交流会での研究協議を中心に、大会の成果と課題について、研究者・実践者がそれぞれの立場で話し合います。

コーディネーター 稲垣 忠 (東北学院大学)
 研究者 木原 俊行 (大阪教育大学)
 研究者 村井万寿夫 (金沢星稜大学)
 実践者 草柳 譲治 (川崎市立南原小学校)
 実践者 田原健之介 (大阪市立南港緑小学校)

■教材教具展示研究・抽選会 (16:00~17:00) カルチャー棟展示コーナー

電子黒板・実物投影機・液晶プロジェクター・電子教科書等、各社の最新のICT教材・教具を2日間展示します。なお、2日目の16:00~17:00においては、豪華教材・教具が当たる抽選会を開催します。

申し込み方法

原則として、下記のホームページからお申し込みください。なお、ホームページから申し込みができない場合は、☎03-3591-2186（日本視聴覚教育協会）へお問い合わせ下さい。

申込先URL: <http://www.javea.or.jp/soutai/>

(日本視聴覚教育協会ホームページ内)

資料代→3,000円

OB・OG→1,000円

◆振込先◆ 三井住友銀行 日比谷支店 普通預金 口座番号:8393920
口座名義:視聴覚・放送合同大会

◆締め切り◆ 7月23日(月)

申込上の留意点

- ・ホームページ上の例を参考に項目ごとに入力してください。
- ・申し込みは、必ずお一人ずつ入力をお願いいたします。
- ・振込手数料は申込者ご負担をお願いいたします。
- ・申込後、変更が生じた場合は、電子メールやFAXでご連絡ください。

参加上の留意点

- ・宿泊先は紹介しておりません。ご自身で手配をお願いいたします。
- ・昼食はセンター棟2階カフェテリアまたはカルチャー棟2階レストランをご利用ください。
- ・自動車での来場はご遠慮ください。

問い合わせ先

視聴覚教育関係

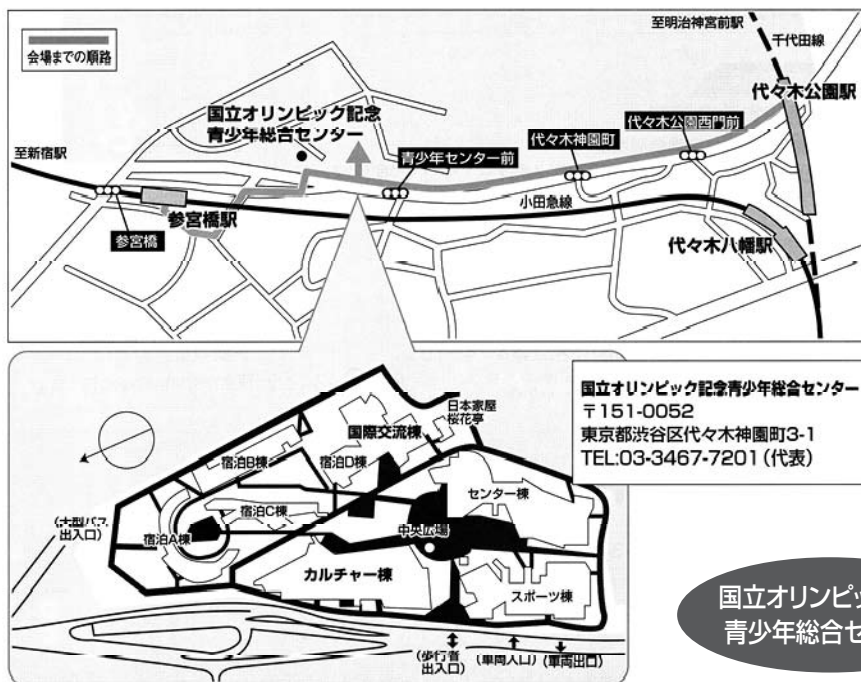
一般財団法人日本視聴覚教育協会 佐藤
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-19-5 虎ノ門1丁目森ビル
TEL:03-3591-2186 FAX:03-3597-0564
e-mail: taikai@javea.or.jp

放送教育関係

全国放送教育研究会連盟 若狭
〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1 NHK視聴者事務局事業部内
TEL:03-5455-4310 FAX:03-3481-1372
e-mail: s02303-zenporen@nhk.or.jp

会場案内図

◆国立オリンピック記念青少年総合センター 周辺地図

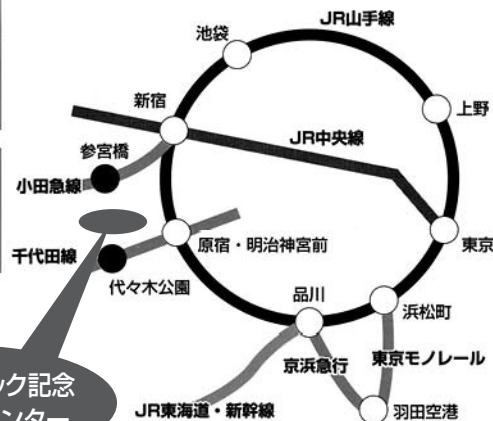


会場へのアクセス

◆交通機関（最寄り駅）

小田急線 参宮橋駅下車 徒歩7分
東京メトロ千代田線 代々木公園駅下車
(代々木公園方面出口) 徒歩10分

◆都内主要駅から（路線図）



国立オリンピック記念
青少年総合センター